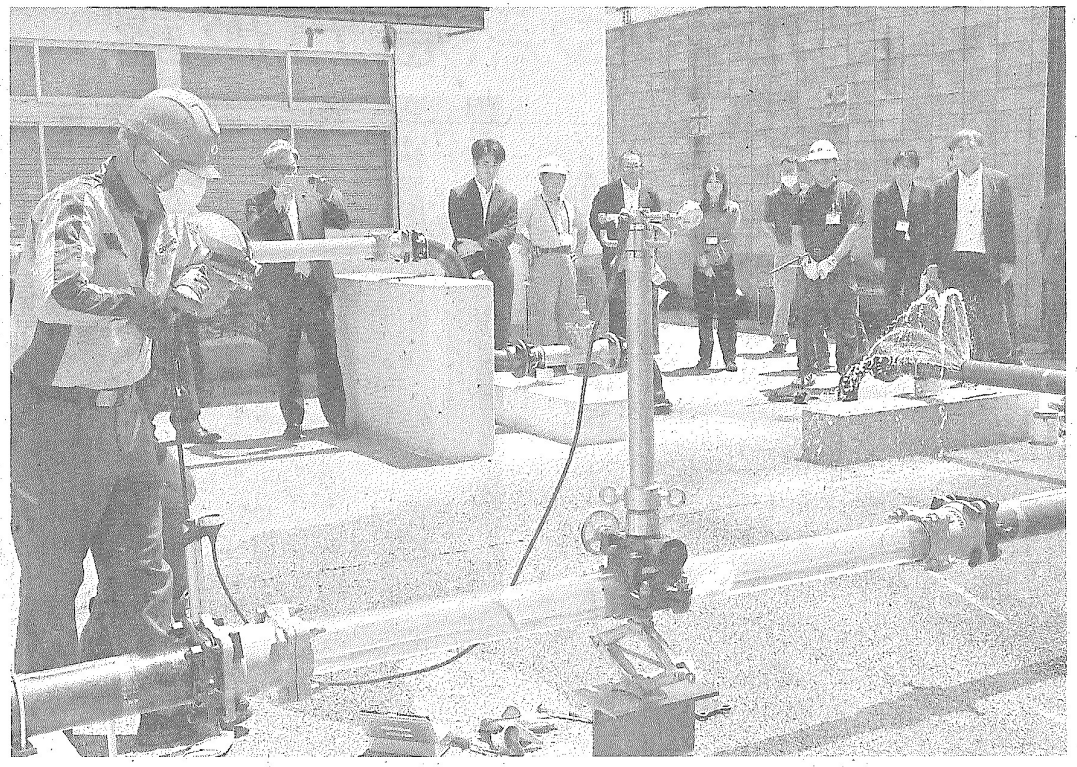
2026年（令和8年）7月15日（水曜日）
下野新聞

水道職員の技術向上を

宇都宮市 研修センター開設



漏水発生時対応のデモンストレーション

【宇都宮】水道管の修繕や漏水調査などに当たる市職員らの技術力向上を図る「市水道技術研修センター」が9日、下河原水再生センターに隣接する市有地（下河原1丁目）に開設された。

水道などのインフラは安定的な管理が求められる一方、技術者の高齢化や後継者不足が全国的に課題となっている。2024年1月の能登半島地震で、市は水道の復旧作業に職員らを派遣しており、有事に備えた技術力や判断力にたけた人材育成が必要として、市と市管工事業協同組合が連携して6月上旬に整備した。

研修センターは内容別に三つのエリアに分けられている。二つの地上エリアには水道管を張り巡らせ、一部にアクリル管を使用して水の流れを可視化。漏水発生時の修繕技術などを学ぶ。残るエリアには漏水した水道管を埋設し、探知機で破損箇所を特定する技能を習得する。施設は市職員のほか民間事業者も利用できる。

同日の開所式には県、市、同組合などの関係者約70人が出席。佐藤栄一市長は「官民連携による人材育成と技術継承を推進し、市民生活に必要不可欠なライフラインとして使命を果たす」と強調した。会場では研修のデモンストレーションも行われた。（斉藤章人）